

倫理審査委員会 平成20年9月17日

申請者	消化器科医師 本田 浩一
受付番号	42
課題名	データマイニング手法を用いた効果的な治療方法に関する研究
研究の概要	<p>C型慢性肝炎の治療法として2004年12月以降、週1回投与のインターフェロン（ペグインターフェロン）と抗ウイルス剤（リバビリン）の併用治療法が、わが国でも使用可能となりました。難治症例に対するインターフェロン治療効果は、従来の治療法では10%以下の治癒率でしたが、この併用治療法では50-60%前後の治癒率が期待できると言われています。しかし、どのような患者さんで高い治療効果が期待できるのか、また、多数例での副作用の実態がどうか明らかではありません。今回、このことを明らかにする為に、厚生労働省の研究班として調査をおこなうことになりました。</p> <p>私たちは、この併用治療法を受けられた患者さんの治療に関連する診療情報を検討することで、1)治療効果に関係する因子、2)事前に治療効果を予測することが可能か、3)治療中止に至る副作用の実態は、4)副作用の出現を事前に予測可能か、などについて具体的に明らかにしたいと考えています。</p>
判定	計画どおり承認

申請者	消化器科医師 本田 浩一
受付番号	43
課題名	難治性C型慢性肝炎症例に対するPEG-IPN-2b-RBV併用長期投与の有用性の検討
研究の概要	<p>Genotype1型で高ウイルス量のC型慢性肝炎患者に対するREG-IFN/Ribavirin併用療法において、TaqMan HCVIによりHCV RNAが検出された患者へのPEG-IFN/Ribavirin併用療法72週間投与の治療効果について検討する。</p>
判定	計画どおり承認